

令和6年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業検討委員会 会議録

- 1 日 時 令和6年7月25日(木) 午後2時から午後3時まで
- 2 場 所 東近江市ひばり公園みすまの館大会議室
- 3 委員総数 21名
- 4 出席者数 21名(内代理出席2名)
- 5 議 題 公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業について
(1) 令和5年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業報告
(2) 令和6年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業計画
(案)

6 会議の経過

(司 会) ただいまから令和6年度の公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業検討委員会を始めさせていただきます。はじめに森野理事長が開会の挨拶を申し上げます。

(理事長) 大変暑い日になってきており、皆様にはお忙しい中、この委員会にご出席をいただきまして有難うございます。現在、事業団は東近江市の14施設の指定管理者の指定を受けております。そうした施設の管理運営、あるいは事業運営の中で市民の皆さんの文化スポーツの普及と振興に寄与するため、一生懸命努力しているところです。

今後も市民の皆さんの期待に応えられるような運営、あるいは事業展開を考えて上で、この委員会で皆さんからいろいろのご意見、ご感想をいただき、それを基にまた事業を進めていきたいと考えております。

今回のフランスオリンピックでは、開会式を前に一部の競技で試合が始まり、夏の風物詩ともいえます甲子園の出場校も徐々に決定してきています。

また、来年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会の開催に向け、今年度からプレ大会が開催されるわけですが、こういった様々なスポーツイベントを通じ、市民の皆さんのスポーツに対する関心や意欲が大きくなっていくことを期待しております。

本日は限られた時間ではございますが、私どもの取り組みをご説明させていただき、委員の皆様のご意見をいただきますよう、よろしくお願い致します。

(司 会) 続きまして、本日お忙しい中、ご出席いただきました委員の皆さんをご紹介します。お名前をお呼びいたしますので、その場で起立していただきますようお願い致します。(委員紹介)

ご質問につきましては、令和5年度事業報告並びに令和6年度事業計画の説明が終わりましてからお受けいたしますので、どうぞよろしく願いいたします。それでは令和5年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業について報告いたします。

(委員) 令和5年度スポーツ事業報告説明(別紙資料)

(司会) 続きまして、令和6年度、公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業計画(案)を説明いたします

(委員) 令和6年度スポーツ事業計画(案)説明(別紙資料)

(司会) ありがとうございます。それでは令和5年度事業報告ならび令和6年度事業計画(案)についてご質問等ございませんか。

(外部委員) 令和5年度の実績の中で10ページ4番の大学と連携巡回講座の受講者2名や1名の報告がありますが、どの様なことですか。

(委員) 今回、びわこ学院大学との連携講座でしたが、受講者募集に対する連絡調整がうまくいかずに少数受講者での講座開催となりました。

(外部委員) 盛んにインボディ測定の取組をされており、私も2回程度受けたことがあります。資料にも書かれているのですが、筋肉量や脂肪量を明確に判断できるため、測定して良かったとの意見があり、今後においてもインボディ測定を続けてもらいたい。

(外部委員) 事業報告を見ると色々な教室を開催されているのですが、先般、東近江市健康づくり協議会が開催され、東近江市保健センターから東近江市国民保健加入者対象の運動習慣の活性化に対する令和5年度の実績報告がございました。

平成29年の時点での運動習慣の割合実績として、26歳から64歳の男性が26.9%の実績でした。そこから数年の期間単位で運動習慣の割合増加目標値を設定されており、現在のスポーツ庁で設定されている目標値が65%から70%に変更されています。東近江市においては、令和5年の目標値が28%と、国とはかなり低い目標値が設定され、令和5年度の東近江市の実績ですが、20歳から64歳の女子は約20%の方に運動習慣が有り、65歳以上の男子が40%でした。

東近江市では 28%と低い目標値とされているにも関わらず達成できていないのが今の東近江市の現状です。

東近江市保健センターでは、国民健康保険の加入者を対象に事業されていますので、事業団が東近江市からの委託を受け様々な運動教室事業をされているのですが、東近江市全体として、市民への運動習慣活性化を働きかけないと目標値達成率増加にはならないと考えていますし、事業団からも行政に提案をお願いしたい。

本当なら総合型地域スポーツクラブも運動習慣の増加に力を入れるべきですが、東近江市の総合型地域スポーツクラブの組織がバラバラであり、東近江市としてクラブの統合を検討していただきたい。

統合していただければある程度の方向性で計画でき、有識者やマンパワーも得ることができると考えますが、現在のスポーツクラブの活動としては、もう各地区で運動を楽しめる人だけに焦点を当てて活動しているのが現状です。

東近江市民の運動習慣の割合向上に活動していくことができるのは、事業団だと思っていますので、やっぱり事業団が市にもっとしっかりアプローチしてください。

市民の健康維持増進、健康維持増進が上がりますと、当然、医療費も削減できるので大きなメリットがあると思いますので、もっといろいろな手を使ってこの保健センターが挙げている習慣の割合を最低でもクリアできるような策を提案していただくようお願いします。

(委員) 令和4年度国民健康保険の運動教室の担当をさせていただきましたが、コロナ禍の関連の影響も残りながら令和5年度には計画した8教室が、ようやく開講できたという状況でありました。

国民健康保険教室は運動をしていくという足掛かりを提供することで、運動し始めるのに参加しやすい期間も考え、6回の教室を開催しているというところがあります。

教室に参加いただいた方が、そのまま引き続き運動教室に参加いただける継続した運動教室の開催に繋げていく方策を考えていかなければならないと感じております。

東近江市民の運動習慣が目標値に達成できていないということですので、事業団としても市民に運動習慣をつける足掛かりとなるような事業の提案を国民健康保険教室の中からでも上げていければならないと思います。

(外部委員) 国民健康保険運動教室の講師をしています。例年、事業団から教室講師の依頼が遅く、教室の依頼を受ける際には、例年と同じ条件でと言われます。私

としては色々とスキルもあるし、毎年勉強集会に参加させてもらってそれなりのアップデートをしているので、毎年前年度と一緒にあれば教室自体のマンネリ化もしていきますので、講師依頼については、もう少し早く1週間ほどの期間をかけて何か新しい講座を提案していただけますかということをお事業者に伝えていただければ、少し教室内容もアップデートできますし、色々な人が参加し易い教室にできれば良いと思うので、もう少し講師依頼を早めにして、講師が提案し易いように動いていただければいいかなと思います。

(委員) 教室も早めから企画させてもらっていたのですが、その中で各講師さんとの連絡調整については、教室を開催する各施設の担当でお願いをさせてもらっております。

今、ご指摘いただいた件について、来年度以降は、教室のアップデートできるよう余裕を持って指導員とお話をして決めていくようにします。

(外部委員) 保険年金課から国民健康保険運動教室を委託させていただいています。毎年運動教室のチラシ等の内容を見ていると、同じ教室が長く続いている感じがあります。チラシ一つでも興味を持ってもらえるような形で周知していただけるようなチラシの作成をお願いします。やっぱりたくさんの方に参加していただきたいと思いますので、周知の仕方については、当課でもできることはないか検討しながら、事業団と一緒に考えながらたくさんの方に参加していただけるような教室に今後もしていけたらなと思いますので、よろしくをお願いします。

令和6年度、五個荘地区のてんびんの里文化学習センターでも開催していただく予定ですが、能登川地区でも開催してもらえたらいいなという意見もありましたので、今後においても検討を宜しくをお願いします。

(外部委員) 今年の事業計画の中でスポーツ振興くじの助成金を受けるということで、小学生からプロから学べることは有難いですし、民間事業者ではトップアスリートを事業に呼ぶことができることをアピールされていますが、事業団でもできることを上手にアピールいただくと良いと考えます。せっかく開催されるのであれば、市民の皆様が発信した方が良いと思いますので宜しくをお願いします。

(委員) 先ほどのアドバイスをいただいた点については、今年度の計画の最後に、自主事業の開催に向けた財源確保の取り組みということで、今年度から初めてスポーツ振興くじの助成金をいただき、それを財源として例えばトップアスリー

トを招へいして事業を開催するとか、今まで施設管理を中心として、自分たちの力の及ぶ範囲で事業の計画していた傾向でしたが、様々なご意見をいただく中で、スポーツニーズというものが高まっております。テレビでしか見たこともないような選手を目の前にして直接指導を受けることの喜びであったりとか、そういったことを東近江市内で実施していこうということで、今年度スタートいたしております。そういったところで今後、市民の様々なニーズに応じた事業の展開というのを積極的に取り組んでまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

(外部委員) その点につきましてちょっと私が残念に思っているのですが、ある施設の指定管理の選定の際に、そのプレゼンテーションの中で、すごい事業を展開していく、というプレゼンでした。これは素晴らしいなと思ったのですが、今は何もやっておられません。

特に一部の施設では、赤字ということもあるのではないかもしれませんが、子どもたちにバスケットボールの教室事業は開催されているのですが、もっと市民目線で市民が楽しみ参加できる教室事業を実施すると提案されていましたが、できていないというのが現状です。

今、言われましたように、市民の誰もが知っているようなトップアスリートを呼んで、市民の誰もが見に来られるというようなイベントをやっていただきたいと思います。

公共スポーツ施設に行くことが無くなると段々と足が遠のくことが懸念されます。今年度の事業団のスポーツ事業で、トップアスリートの招へいした事業を開催していただく計画を是非、開催していただきたいと思います。

(司 会) 他に質問ございませんでしょうか。これからの事業団の事業のあり方などについてのご意見やご要望などなんでも結構ですのでありましたら、よろしくお願いたします。

(外部委員) 指定管理施設のモニタリング等で色々な施設に行かせていただくのですが、其々の事業計画をいただき、年間スケジュールも出しているのですが、どうしても個々の施設での評価になりますので、計画に対して漏れのないよう事業を進めていただきたい。

(外部委員) もう一点聞きたいのが中学生の部活の地域化に関してスポーツ課がいろいろな募集をされていますが、事業団でそのような人材を確保できないのでしょうか。事業団は、専門的に指導ができる人材が多いと思いますが、部活動などに

ついて検討されていないのですか。

(委員) 昨年度の会議においてもご意見をいただいておりますが、現在の少子化や教職員の働き方改革によっての子どもたちのスポーツの活動の実践機会が減少するということが近々の課題になっております。

特に小学校から中学校までスポーツの実践機会については、これまではスポーツ少年団もしくは中学校の部活が非常に大きな役割を担ってきたというところではございます。

私事ですが、私も小学校低学年の子どもがいる関係上、これから子どもたちにどのようにしてスポーツをさせられるのだろうかという話をされます。

私たちの子どもの頃は、居住地域において無償でスポーツ活動をするということが当たり前で、私たちは何も思わなかったですが、スポーツ環境の変化により、今後に於いては保護者が、どのようにしたら子どもにスポーツ機会を与えられるか、必死にならないといけなくなっていくと思われま。

中学校の部活を地域への移行とよく言われるのですが、事業団といたしましては、やはり、東近江市の教育行政及び文化スポーツの所管課の課題に対する基本的な考え方、方向性、取組をやはり注視するというので、まずは動向を見守っていきたいと思っています。

事業団が、こういうことをやりなさいと発信するよりも社会体育施設、スポーツ施設を預かる団体として、現状でできる教室等を開催しています。その教室をお昼の3時や4時に開催していけるのか等いろんな問題や課題もあります。部活動においては、地域連携協議会が、まず保護者そして子どものニーズの聞き取りをし、そのニーズに対してどうしていくかというようなことを考えていく上で、事業団にもヒアリングの協力をお願いしたいと言われておりますので、そういった場合にはいつでも事業団としては東近江市の方向性が示されれば連携し、取り組みを進めたいと考えています。

総合型地域スポーツクラブもそうですし、部活動の地域化もそうですけれども、やはり市が一体となつていろんなことを考えていただくこと。事業団にも協力の要請があった際には、検討したいと考えています。

(外部委員) わかりました。スポーツ課には早く方向性を出していただけることを願っています。

(司会) それでは本日、予定しておりました内容につきましてはすべて終了いたしました。委員の皆様からは貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。最後になりますが、事業団の常務理事の瀬戸が閉会のご挨拶を申し上げます。

ます。

(常務理事) 本日は結構お忙しいなか、出席いただきまして、誠にありがとうございます。様々なご意見アドバイスをいただき、事業団といたしましても、只今いただきました様々な意見を取り入れて、今年度からしっかりと活動していきたいと思っています。委員の皆様方に於かれましては、今後も引き続き事業団の応援者として、よろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。